

# 新潟西商工会景況調査報告書

景況調査については各機関で実施しており、その結果は実施機関のほか新聞等マスコミでも公表されおりましたが、地区内に絞って調査されたものではなく、県内、市内の景況と地区内景況の違いや、特に小規模事業者の景況感の相違を感じております。そこで、当会では、地区内小規模事業者等の経営状況を把握し、今後の事業活動や事業者支援の参考にすることを目的に景況調査を年2回、上期、下期に実施しています。

今回、30年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告申し上げますと共に、今後の経営改善普及事業に役立てていきたいと考えております。皆様のご要望などございましたら、お気軽にお聞かせください。

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 新潟西商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)  
ウ 回答企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 平成30年1月～平成30年6月  
(調査時点 平成30年7月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	5	10.0%	5	10.0%
建設業	9	18.0%	9	18.0%
卸・小売業	17	34.0%	17	34.0%
サービス業	19	38.0%	19	38.0%
合計	50	100.0%	50	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

新たな取組みや販路開拓などを試みる事業所において一部好転が見られるが、すべての業種において、需要の停滞や仕入単価の上昇等により依然厳しい状況が続いており、今後も続く見通しである。事業主の高齢化や後継者の不在が、積極的経営、投資の阻害要因となっている。建設業やサービス業においては人材確保が課題であり、人手不足感が拡大している。

### 【後継者の状況】

後継者がいる事業所は28%であり、72%の事業所には後継者がおらず、事業承継が課題である。

後継者 あり	14事業所	28.0%
後継者 なし	36事業所	72.0%

### 【売上高】

売上高は、前年同期比、前期比ともに減少とした事業所が52%と最も多かったが、今後の見通しについては、不変と回答した事業所が38%と最も多く、次いで減少が34%、増加が28%であり、若干の増加傾向が見られる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
12	12	26	12	12	26	14	19	17

### 【採算】

採算は、前年同期比、前期比ともに悪化とした事業所が50%と最も多かった。今後の見通しにおいては、不変と回答した事業所が50%と最も多く、悪化が36%、好転が14%となっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
6	19	25	7	18	25	7	25	18

### 【仕入単価】

仕入単価は、前年同期比及び前期比で上昇または不変とした事業所が92%であった。今後の見通しにおいても、94%の事業所が上昇または不変と回答しており、仕入単価の上昇による採算への影響が懸念される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
19	27	4	17	29	4	16	31	3

### 【販売（客）単価】

販売（客）単価は、前年同期比で不変とした事業所が62%、低下が24%、上昇が10%であった。今後の見通しについてもほぼ横ばい。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
7	31	12	8	30	12	7	34	9

### 【資金繰り】

資金繰りは、前年同期比で悪化と回答した事業所が32%、前期比で36%となっており、好転と回答した事業所を大きく上回っている。  
 今後の見通しについても、28%が悪化、66%が不変と回答しており、厳しい状況が続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	32	16	1	31	18	3	33	14

### 【雇用動向】

雇用動向は、前年同期比で不変とした事業所が72%と最も多く、前期比でも不変とした事業所が70%と最も多かった。  
 今後の見通しにおいても、80%の事業所が不変と回答しており、雇用動向は変わらない状況が続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
4	36	10	5	35	10	2	40	8

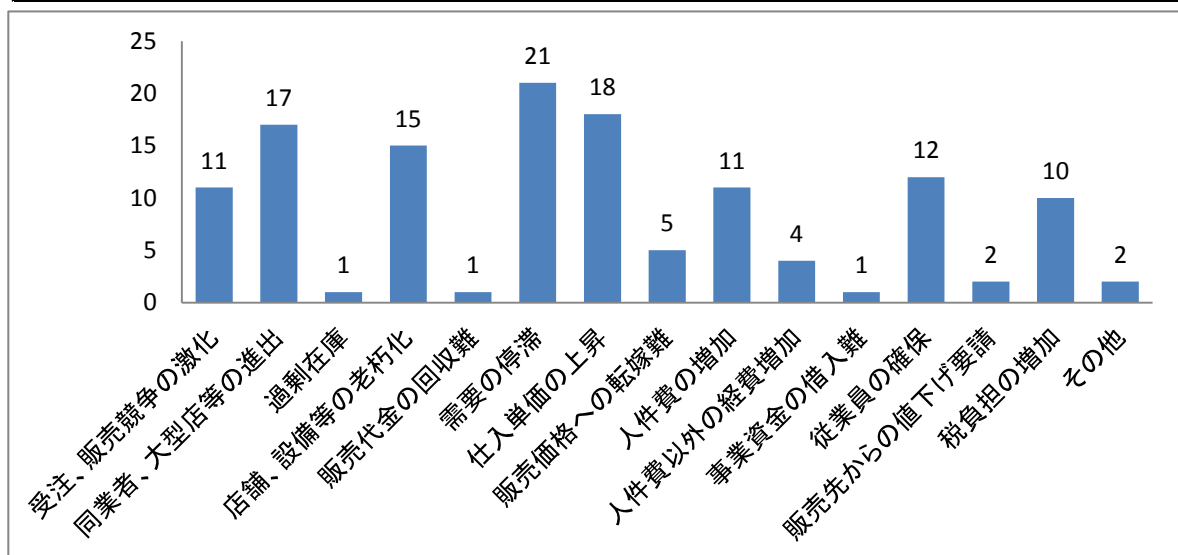
### 【景況判断】

景況判断は、前年同期比、前期比ともにで不変または悪化とした事業所が92%であった。  
 今後の見通しにおいても、同じく92%の事業所が不変または悪化と回答しており、厳しい状況が続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
3	22	25	4	21	25	4	23	23

### 【経営上の問題点】

経営上の問題点は、需要の停滞が最も多く、次いで仕入単価の上昇、同業者、大型店等の進出、店舗、設備等の老朽化と続いている。  
 また、従業員の確保、受注・販売競争の激化、人件費の増加、税負担の増加など問題点は多岐に渡っている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

製造業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・需要の増加のための営業活動

地区内製造業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比、前期比、今後の見通しについて、いずれも悪化とした事業所が60%と最も多く、不変が40%、好転がゼロであり、厳しい状況がうかがえる。今回の調査では、回答いただいたすべての事業所が、経営上の問題点として需要の停滞をあげている。市場の再調査や新たな取引先の開拓、営業の強化等による需要の創出が不可欠である。

#### (2) 建設業

建設業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・人材確保
- ・労働内容の効率化
- ・設備投資

地区内建設業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比では、悪化とした事業所が44%と最も多く、次いで不変が33%、好転は22%であった。前期比における景況判断、来期の見通しもほぼ同じ割合である。従業員の確保を課題とする事業所が多く、若年労働者の確保や人材育成が急務である。また、人材不足を補うための設備投資や業務効率化への対応に必要性を感じている事業所が多い。

#### (3) 卸・小売業

卸・小売業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・配達業務を活かした高齢者の取り込み
- ・HP充実による販路開拓
- ・来店者増加のための店舗改善
- ・経費の効率化
- ・後継者がいないため現状維持

地区内卸・小売業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比、前期比とも悪化とした事業所が82%と最も多かった。来期の見通しにおいても、悪化とした事業所が76%と最も多く、好転は5.8%に留まっている。大型店への顧客流出による需要の停滞や後継者の不在等から業界全体の閉塞感は否めず、卸・小売業における景況は厳しい状況が続いている。その中で好転と見込む事業所は、店舗改装や新たな販路開拓など前向きな取組みを行っている。

#### (4) サービス業

サービス業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・店舗等のリフォーム強化
- ・人材教育の強化
- ・新商品開発
- ・イベント出店
- ・スタッフの確保
- ・職場環境改善のための設備投入
- ・新規事業の開拓

地区内サービス業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比では、不変とした事業所が79%と最も多く、次いで悪化が21%であった。来期の見通しにおいては、不変とした事業所が74%、悪化が21%、好転は5%に留まっている。経営上の問題点として、一番多くあがったのは人件費の増加で、次いで仕入単価の上昇、また、税負担の増加をあげる事業所も多く、今後も最低賃金額の上昇や消費税の引き上げ、仕入単価の高止まり等による採算への影響が懸念される。

